

オーラルセッション — 要約

若い世代の持病患者の健康における 新技術の使用意図と関連消費行動に 関する探究

— 深層インタビューとグラウンデッド理論を中心に —

国際広報メディア・観光学院 博士後期課程

李 珠伊

キーワード

ヘルスケア, ChatGPT, オンライン診療, ウェアラブル機器, モバイルヘルス

本研究は、ミレニアル世代の持病を持つ成人における健康関連新技術の使用意図と消費行動を探求することを目的としている。特に、ChatGPT, オンライン診療, ウェアラブル機器といった新技術が、持病を持つ若年層の健康管理に与える影響を明らかにしている。

グラウンデッド理論に基づく質的研究を通じて、4人の持病を持つミレニアル世代を対象に深層インタビューを実施し、データをオープンコーディング手法で分析した。

研究の結果、持病を持つ若い世代は、新技術を活用する際に「信頼性」と「健康リテラシー」の二つのコアカテゴリーが重要であると認識しており、これらが新技術の使用意図や消費行動に大きな影響を与えていることが分かった。また、健康に関連する新技術の使用は、効率的な健康管理や生活の質の向上に寄与する一方で、技術の信頼性や個人のヘルスリテラシーが重要な要素であることが示された。

本研究は、健康分野における新技術の使用意図を定性的に深層的に分析した点で学術的に貴重であり、今後の研究や実務において新技術の効果的な活用方法についての洞察を提供している。